

普及やいま

第140号
発行
八重山農林水産振興センター
農業改良普及課
沖縄県石垣市真栄里438-1
TEL 0980-82-3497 Fax 82-4142
与那国駐在
TEL 0980-87-2354(代)

祝 黒島農業青年クラブ10周年 玉代勢元さんに功労賞

黒島農業青年クラブは、平成28年12月に設立10周年を迎え、60名が出席するなか盛大な記念式典を開催しました。

クラブの設立と活動に尽力された玉代勢元さんに、クラブから功労賞が贈られました。(平成28年12月15日)

会長挨拶

会長 鈴木梯子

目標を新たに次の10年もクラブ員の力をあわせて頑張っていきます！



副会長 運道将太

10年間の活動
(一部抜粋)

- H.18 「よい子牛はよい母牛から」を理念に設立
- H.20 玉代勢元さん 県農業青年技術交換大会 **最優秀賞**
- H.21 与那国町農業青年クラブと交流
- H.22 島仲大輔さん 県農業青年技術交換大会 発表
- H.24 渡邊みくにさん 県青年農業者会議 **最優秀賞**
- H.27 **県内初** 牧草コンテスト開催
- H.29 仲嵩秀文さん 全国青年農業者会議 **九州・沖縄代表**(※詳細5面)

その他、共進会参加と削蹄の推進、セリ前の市場清掃、セリ後の牛運搬、勉強会の開催など、担い手育成に取り組んでいます。

第2回 牧草コンテスト結果

今年度も開催



最優秀賞牧草の試料分析結果
【 】内は黒島から出品の平均値

| 分析項目 | 乾草部門 | サイレージ部門 |
|------------|------------|------------|
| 水分(%) | 15.8【14.9】 | 38.2【30.4】 |
| CP (%DM) | 7.3【 8.3】 | 8.5【 8.7】 |
| ADF(%DM) | 39.4【40.2】 | 39.2【41.9】 |
| IVDMD(%DM) | 56.2【48.2】 | 58.9【56.6】 |
| TDN(%DM) | 56.6【48.7】 | 59.3【57.0】 |

乾草部門(全32点)
最優秀賞 黒島東牧場
優秀賞 玉代勢元
優秀賞 島仲大輔
優良賞 鈴木梯子

サイレージ部門(全8点)
最優秀賞 又吉智生
優秀賞 島仲治伸
優良賞 玉代勢元

黒島外から参考出品の成績上位者
黒島農業青年クラブ賞
福田真也(石垣市)
上地豪一(宮古島市)

☆昨年度に比べて特にサイレージの品質が向上しました☆



全国の生産者を代表して「収穫感謝の言葉」を述べる伊盛氏

受賞理由(農林水産省発表資料より)

- (1) 年間を通して気温が高い石垣島は、酪農経営にとって厳しい生産環境であるにもかかわらず、牛が快適に過ごせるための工夫や、雌雄判別精液を活用し暑さに強い牛群の改良に取り組むなどの努力を重ね、他府県と変わらない高い品質と生産量を維持している。
- (2) 黒糖、マンゴーなど地域の特産物を原料としたジェラートや更新牛を利用したハンバーガーの加工・販売を通し観光や地域の振興に貢献している。
- (3) 家庭と仕事を両立できる労働環境を整え、女性従業員を多く雇用し、地域社会と結びついた経営を展開するとともに研修生の受入れ等、担い手の育成にも貢献している。



伊盛牧場は、平成28年度全国農業コンクールで、本県初となるグランプリを受賞したことから、三賞候補(天皇杯、内閣総理大臣賞、日本農林漁業振興会長賞)に選出されました。

その後、農林水産祭中央審査委員会の厳正な審査を受け、畜産部門の天皇杯受賞となりました。



平成28年11月23日、明治神宮(東京都)において第55回農林水産祭式典が行われ、山本農林水産大臣から天皇杯が授与されました。

県内の畜産部門天皇杯受賞は、平成20年の多宇司・多宇明子さん(石垣市)以来の快挙で、2例目となります。



多宇夫妻(左)・伊盛夫妻(右)

伊盛牧場 天皇杯 受賞特集

祝 伊盛牧場 天皇杯受賞記念講演・祝賀会 平成29年1月16日



1月16日にホテル日航八重山にて、天皇杯受賞祝賀会と代表取締役の伊盛米俊氏による業績報告記念講演が開催されました(主催:同実行委員会)。総勢340名余りの関係者等が出席し、伊盛氏の偉業を称えました。指導農業士会や八重山農林高校から余興があり、華やかかつ盛大な祝賀会となりました。

収入保険制度の導入に伴う「青色申告」のススメ

～これを機会に青色申告を始めてみませんか？～

確定申告には、「青色申告」と「白色申告」の2種類があり、「青色申告」は、複式簿記の手法に基づいて帳簿を記載し、その記帳から正確な所得や所得税及び法人税を計算して申告することです。正規の簿記記帳が求められ手間はかかりますが、自分の経営を客観的に把握するための重要なツールであり、税制上の多くの利点があります。

また、この度、政府の農林水産業・地域の活力創造本部において、「青色申告」を行っている農業者を対象とした収入保険制度の導入が決定されました（平成28年12月現在）。

税制上の利点（現状の主なもの）

☆青色申告特別控除

- 「正規の簿記」の場合は65万円を、「簡易な方式」の場合は10万円を所得から控除することが出来る。

☆損失の繰越しと繰り戻し

- 損失額を翌年以後3年間（法人は9年間）にわたって繰り越して、各年分の所得から控除することが出来る。
- また、繰り越しに代えて、損失額を前年に繰り戻して、前年分の所得税の還付を受けることも出来る。

☆青色事業専従者給与

- 事業に携わっている奥さんや子供等に対して給与を支払う場合、一定の要件を満たすことで必要経費にすることが出来る。但し、勤務実態の有無や金額の妥当性等が確認されるので注意を要します。

※所轄税務署に「青色事業専従者給与に関する届出書」の事前提出が必要

☆減価償却費の特例

- 30万円未満の少額減価償却資産は、300万円を上限に購入時に全額を経費に算入出来る。

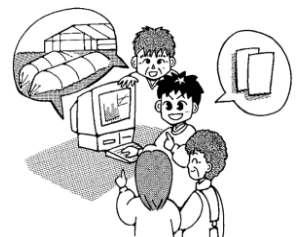
☆収入保険制度への加入（新規）

- 農業経営全体を対象としたセーフティネットで、品目の枠にとらわれず農業経営体の収入全体を見て総合的に対応出来る任意加入の保険制度（平成30年秋から加入申請予定）。

※制度の内容については、農林水産省ホームページや農業共済組合に適宜確認してください。

この機会に新たに青色申告を行いたい農業者の皆様へ

収入保険制度は、「青色申告」を5年間継続している農業者が基本となりますが、「青色申告」の実績が制度の加入申請時に1年分あれば加入が可能です。よって、平成30年秋に加入申請するには、29年分の「青色申告」を行っていることが必要となるため、29年分の「青色申告」を行うには平成29年3月15日までに最寄りの税務署に「青色申告承認申請書」を提出する必要があります。



青色申告を行っていない皆様、自分の経営状況を客観的に把握するためにも「青色申告」手続きを行い、適切な経営改善に取り組みましょう！

問い合わせ先:

石垣税務署 : 0980-82-3074
 八重山青色申告会 : 0980-82-5179
 JA八重山地区営農振興センター : 0980-82-2006
 八重山農業改良普及課 : 0980-82-3497

与那国情報

草地更新の推進取組み



草地更新は多大な経費がかかるため補助事業等を利用した更新が期待されるが、少しでも生産性向上を目指し、畜産農家自作のリッパー(作溝機)を使って生産性の向上を図る取組みを行っている。



畜産農家自作のリッパー(作溝機)

写真左は平成27年7月下旬の草地、写真右は簡易更新により生産性の向上が実証された平成28年10月中旬の草地。低コストで簡単にできる簡易更新技術の普及が期待される。

水稻生産に大打撃

平成28年度の水稲は4月のスクミリングガイ(ジャンボタニシ)、5月のイネヨトウ被害、収穫期の7月にはコウキヤガラによる雑草被害に悩まされた。



写真
上左:イネヨトウ被害
上右:コウキヤガラ被害
下:スクミリングガイ被害



台風襲来によるさとうきび被害

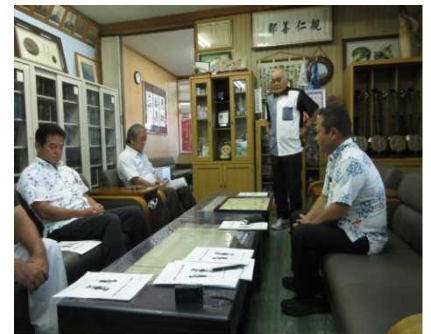
平成28年9月中旬(台風16号)および下旬(17号)の直撃により、さとうきび生産に大打撃を与えた。



写真左:台風16号(平成28年9月17日)
最大瞬間風速66.8m/s、降水量281mm
写真右:台風17号(平成28年9月27日)
最大週間風速52.8m/s、降水量171mm

さとうきび競作会多量生産の部(法人)県1位受賞

写真→
町長への受賞報告をする
宮良正一氏



← 写真
長男で取締役の正勝氏が代理で出席した。

きび競作会で与那国町農業生産法人(有)与那国農産が多量生産の部のさとうきび生産法人の部で県1位(生産量700t、甘蔗糖度12.0度)を受賞した。



九州・沖縄地区青年農業者会議

仲嵩さん 最優秀賞 意見発表

沖縄県青年農業者会議

宜野座さん 最優秀賞 プロジェクト発表



九州・沖縄地区青年農業者会議
仲嵩さん(中央)と黒島農業青年クラブ

竹富町黒島の仲嵩秀文さんが、昨年度の県青年農業者会議「意見発表の部」最優秀賞につづいて、平成28年度九州・沖縄地区青年農業者会議(主催:九州・沖縄地区農業青年クラブ連絡協議会 共催:鹿児島県)においても最優秀賞を受賞しました。

仲嵩さんは、黒島農業青年クラブの活動が、県の畜産共進会2連覇や競り単価の上昇につながったこと、その取組が島の畜産農家に広がったことを発表しました。2月28日から開催される全国青年農業者会議に九州・沖縄地区代表として出場します。



沖縄県青年農業者会議
宜野座さん(中央)と西表島農業青年クラブ

平成28年度沖縄県青年農業者会議(主催:沖縄県農林水産部、沖縄県農業青年クラブ連絡協議会)が、10月28日に那覇市で開催され、プロジェクト発表の部で宜野座安剛さん(石垣市)が最優秀賞を受賞し、来年度の九州・沖縄地区青年農業者会議へ沖縄県代表として出場することが決まりました。

宜野座さんは、「目指せ！ゴーヤの長期取りによる高単収！高収入！」と題して土作りや作型を工夫した成果を発表しました。2人とも地域農業のリーダーとして今後の活躍がますます期待されます。

指導農業士、青年農業士と名誉女性農業士 誕生

平成28年9月12日(月)、県庁において、平成28年度沖縄県農業士等認定式が行われ、八重山地区から指導農業士4人、青年農業士1人が県知事より認定証の交付を受けました。名誉女性農業士1人が農林水産部長より感謝状を贈呈されました。



仲松 須磨子 氏 名誉女性農業士

(石垣市:肉用牛繁殖、さとうきび)平成16年に女性農業士に認定され、同年に家族経営協定を締結し、県内初の共同認定農業者となりました。また、女性の視点から施策への提言等も積極的に農業経営に参画する女性の目標となっています。

東 政廣 氏

指導農業士
(石垣市:野菜)
拠点産地品目であるオクラの大規模生産者、独自の栽培技術と雇用労働を活用した経営をしています。小学生の農業体験受入、後継者育成にも尽力しています。

伊盛 米俊 氏

指導農業士
(石垣市:酪農)
石垣島の自然環境に耐えられる牛の育成に成功。6次産業化で「ミルミル本舗」を立ち上げ、独自のブランドを作りあげています。その実績が認められ平成28年度の天皇杯を受賞しました。

比屋根 正和・恵 氏

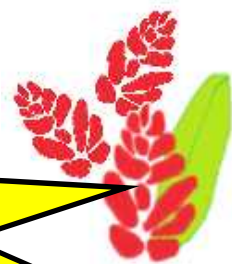
指導農業士
(石垣市:肉用牛繁殖)
平成22年に家族経営協定を締結し、共同認定農業者として夫婦で畜産に従事している。「牛を自由に、牛にストレスを掛けない」牛飼いを通して担い手の育成にも尽力しています。

仲嵩 秀文 氏

青年農業士
(竹富町:肉用牛繁殖)
黒島で畜産を経営、地域の青年会、JA青壮年部、農業青年クラブに所属し、組織活動を通して、若手の仲間づくりと、農業技術の底上げを図る活動をしています。



花と食のフェスティバル



沖縄県農林漁業賞 受賞

平成28年度沖縄県農林漁業賞を、農産部門で水稻生産農家の大浜博彦さん、農産漁村地域活性化部門で「南の島々から八重山の味つたえ隊」が受賞しました。その表彰式が2月4日「おきなわ花と食のフェスティバル2017」会場にて行われました。



農産部門・個人
大浜 博彦さん

大浜氏は、一期作、二期作合計17~18haの作付を行っている。農地拡大に伴い、大型機械を導入し生産コスト低減を図ってきました。高い技術を持ち、単収は石垣市の平均を大きく上回り等級は、ほぼ毎年一等となっています。また、仕事に対する真摯な姿勢から島内水稻農家からの信頼も厚く、農地集約化と大型機械導入は、水稻生産の将来のモデルとなることから今回表彰されることとなりました。

農産漁村地域活性化部門 南の島々から八重山の味つたえ隊

平成18年3月に「伝えたい島のこころ、守りたい島の味」をスローガンに結成され、現在は石垣市、竹富町の農家8名漁家1名の女性で構成されています。八重山の農林水産物を活用した商品開発と加工・販売で島内外のお祭りへの出店やボランティア活動を通じて、八重山の農林水産物のPRや、地産地消に貢献していること等が評価されました。



平成18年の石垣島まつり出店の様子

花き・野菜品評会

美里 清矩さん
サヤインゲン



銀



喜友名 茂さん
レッドジンジャー



銀